

2025年度前期

ジャーナルクラブ

「最新論文やトレンド論文
を講師が解説！」

開催形式

zoomミーティング

日時

毎月第2火曜日 (初回 5月14日(火))

19時 ~ 20時

参加費(1クール分)

会員：3000円
(前クール 受講者2000円)

非会員：5000円
(前クール 受講者 4000円)

開催スケジュールと対象論文

日程	論文
5月13日 (第1回)	<i>Modifiable Factors Associated with Prolonged Dialysis Recovery Time and Fatigue in Hemodialysis Patients.</i> 血液透析患者の透析回復時間の延長と疲労に関連する修正可能な要因 【講師：本間なかまちクリニック 臨床工学科 五十嵐一生】
6月10日 (第2回)	<i>Effect of hemodiafiltration on measured physical activity: primary results of the HDFIT randomized controlled trial</i> 血液透析濾過が身体活動測定に及ぼす影響：HDFITランダム化比較試験の主要結果 【講師：聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 矢部広樹】
7月10日 (第3回)	<i>Comparison of survival for super high-flux hemodialysis (SHF-HD) with high albumin leakage versus online hemodiafiltration or SHF-HD with low albumin leakage: the SUPERB study.</i> アルブミン漏出量が多い超高流量血液透析 (SHF-HD) とアルブミン漏出量が少ないオンライン血液透析濾過またはSHF-HDの生存率の比較：SUPERB研究 【講師：医療法人援腎会 すずきクリニック 人見友啓】
8月12日 (第4回)	<i>Intermittent infusion hemodiafiltration is associated with improved survival compared to hemodialysis.</i> 間欠注入血液透析濾過は、血液透析と比較して生存率の向上と関連している 【講師：順天堂大学医療科学部 臨床工学科 浦邊俊一郎】
9月9日 (第5回)	<i>Association between Serum Zinc and All-Cause Mortality in Patients Undergoing Maintenance Hemodialysis: The Osaka Dialysis Complication Study (ODCS)</i> 維持血液透析を受けている患者における血清亜鉛と全死亡率の関連性：大阪透析合併症研究 (ODCS) 【講師：東京医療保健大学 医療保険学部医療栄養科 北島幸枝】

- ✓ 最新の知見と研究ヒントがここに !!
- ✓ 議論を通じて知識を深めてみませんか？
- ✓ 論文の読み方が知りたい、研究に興味がある方、大歓迎!!
- ✓ 1回1時間
解説：30分
意見交換：30分

- ※ 開催期間中は、各回の録画動画を繰り返し視聴が可能です。
- ※ 複数クールのお申し込みをご希望される場合は、各クールそれぞれで申し込みが必要となります。

お申込み
お問合せ

▼ ホームページまたはQRコードよりお申込みください

<https://jstb.jp/> 【主催】一般社団法人日本血液浄化技術学会



(随時応募中)

ジャーナルクラブ内容と注意点

参加について

- ◆ 論文を読んだことがない初心者の方でも理解ができるように解説と質疑応答、討論の時間を設けます。内容は、1回に1論文を講師が解説します。
- ◆ その後、参加者全員で内容について議論を行います（質問も可能です）。
- ◆ 議論内容については、感想や研究成果の臨床応用について、研究の方法論について、追加研究の可能性などを中心に議論します。

開催内容・日程について

- ◆ 開催日は、各月の第2火曜日19:00です。
- ◆ スケジュールは、1年間で2クール開催します。1クール5回ずつです。受講申し込みは、1クール単位となります。
- ◆ 前回から連続してご参加いただく場合は、参加費が割引となります。昨年度から引き続き参加される場合も同様です。
- ◆ セミナーの開催期間中は、録画動画の繰り返し視聴が可能です。

申し込みについて

- ◆ 同一人物での同一クールへの重複の申し込みはできません。
- ◆ 主催者から申込内容について確認させて頂く場合がございます。
- ◆ ホームページ (<https://jstb.jp/>) またはQRコードよりお申込みください。



(随時応募中)

研究初心者の方には研究や論文を読むきっかけを得られる場として、また、経験者の方にも学術レベルの向上を目指す場として、ご利用いただきたいと考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

